



未永蒼生主宰

色彩学校

Since 1989

心のケアの心理学

色彩心理とアートセラピーの専門講座

感情をうまく表現したい。

コミュニケーションの
力を高めたい。

自己実現に活かせる
スキルを身につけたい。

人に役立つことをしたい。

ライフワーク
を見つけたい。

History of 色彩学校

- 1966 未永蒼生
「子どものアトリエ」を開設
日本児童画研究会で色彩心理の研究をスタート
- 1970 大人対象の色彩心理ワークショップを開始
- 1988 (株)ハート&カラー設立。
『色彩自由自在』(晶文社)刊行

1989 講座「色彩学校」開講(東京・青山)

- 1993 『色彩学校へようこそ』(晶文社)刊行
- 1995 阪神・淡路大震災で受講生とともに
アートセラピーボランティア実施
- 1997 スイス「ユング研究所」で交流セミナーを開催
- 2004 「アート&セラピー色彩心理協会」設立
- 2005 「世界子どもクレヨン基金」設立。神戸など
各地で 展覧会やワークショップ開催。
- 2007 「韓国・未永メソッド色彩心理研究所」が
設立され、ソウルにて「色彩学校」開講
- 2011 東日本大震災、「色彩学校」の修了生と
「東日本支援 クレヨンネット」を結成。
- 2013 「東日本支援クレヨンネット」展覧会、
2012年のNY、いわき市立美術館に
引き続き、東京、釜石、北九州、名古屋で巡回
- 2014 アート&セラピー色彩心理協会
(「色彩学校」25周年 記念イベント)を開催
- 2015 「色彩学校」のカリキュラムを改編し、
「色彩心理総合科」がスタート
- 2016 「国際アートセラピー色彩心理協会」の社団法人化
- 2017 修了生有志を中心に行った「ハートアート展」を後援
- 2019 「色彩学校 提携クラス」各地で開講
- 2021 「色彩学校」オンラインクラスをスタート

「色彩学校」について

「色彩学校」は、日本で唯一の色彩心理とアートセラピーの専門講座として、1989年に東京・青山でスタート。30年の歴史と実績を持ち、日本各地はもとより韓国でも開講されています。カリキュラムの中心であるオリジナルメソッドは、スイス・ユング研究所他、韓国語、中国語に翻訳された書籍を通して、国内外で高い関心を集めてきました。

現在、5000名を越える修了生は、「国際アートセラピー色彩心理協会」に所属し、医療、教育、福祉、カウンセリングなどさまざまな分野で活躍中です。

心の健康を守り、自分らしい幸福を得るために。 そのカギが色彩心理とアートセラピーにあります。

人生にとって大切な二つのこと

誰にとっても人生で大切なこと、それは自分らしい「幸福」の実現とそのための「健康」。この二つは深く重なり合っています。私自身、人生の出発点においてこの二つの課題は切実なものでした。というのも幼児期に虚弱であったことで健康状態には敏感でしたし、一方、画家であった父親の影響で幸福というのは自分の生きがいを探求することだと感じて育ったからです。そんな私が20歳の頃に会ったのが色彩心理の研究でした。それはアメリカにおいて子どもの絵からその心理を調査した先駆的な研究でした。「これだ!」と感動し、自らも研究を進めると共に実践の場として開いたのが「子どものアトリエ」という教室でした。さらに研究を重ねると、色彩から心を感じ取る方法は子どもに限らず、成人、高齢者など年齢や性別までも超えて有効であることが分かってきたのです。

何より素晴らしいのは、自由に色を表現することでストレスを緩和し生きるエネルギーを高める効果です。この効果を応用する方法として私たちが開発してきたのが、色彩表現を中心にしたアートセラピーです。

実際、子どものアトリエ教室に通う子どもたちが表現力を高めながら自信を身につけ、一方、高齢者施設では色を楽しむことで、能動性や精神的安定が見られるようになりました。中には認知症予防にも効果が期待できる嬉しい場面もあります。このように、色彩は私たちの「幸福」や「健康」にエネルギーを与えてくれるパートナーなのです。アートセラピーの方法はなぜ世代を超えて心を活性化させる効果があるのでしょうか？

色彩によるケアは、ライフサイクル(生涯)を通して役に立つ

従来の心理学では、たとえば児童心理、女性の心理、老年心理のように年齢や性別によって分類されていました。でも、一人の自分の中には子どもの感情もあれば成熟した心もあり、女性性、男性性も混在しています。このように境界が曖昧な「心」というものをトータルにとらえようとする心理学、それを私は「ライフサイクルアートセラピー」と名付けて伝えています。私自身、絵を描く時に70年を生きてきた経験が反映するかと思うと、子どものような捉われのないイメージが出てきたり、一般的に男性的と感じられる力強いタッチの一方で女性的な柔らかい色使いになったりします。そして、その時々が多様な気持ちを表現する時に精神的エネルギーが全開し元気になれるのです。この感覚が分かると、アートセラピーを提供する時にも、世代を越え様々な対象に自在に活かすことができるようになります。

「色彩学校」は色の力で幸せな人生の扉を開く第一歩!

「色彩学校」では先人の心理学を参照しながら言葉だけでは伝えられない心を解放する方法として、アート表現を体験していきます。とくに色彩を中心にしたアート療法には、50年に渡って体系化してきた、様々な方法があります。こうしたプログラムを体験することは他者に役立つアート療法の技術が身につくだけでなく、何よりあなたが自分らしい人生を創り出すことに結びつくでしょう。

受講生は20代から80代まで幅広く、修了後は国際アートセラピー色彩心理協会のバックアップを受けながら生きがいにつながる活動を行っています。色に触れることで心が互いに響き合ったり、また不安を乗り越えることで世の中が明るくなること。これが長年研究してきた私の願いです。

「色彩学校」創立メンバー



「色彩学校」主宰
末永 蒼生 SUENAGA, Tamio
色彩心理研究家
「国際アートセラピー色彩心理協会」会長

1960年代から実験的な美術活動を行い、並行して日本児童画研究会で色彩心理の研究を行う。66年、「子どものアトリエ・アートランド」を開設。以後、色彩心理に基づいたカウンセリングとアートセラピーを組み合わせ「末永ハート&カラー・メソッド」を体系化。多摩美術大学非常勤講師をはじめ、内外の大学で特別講義を担当。阪神淡路大震災や東日本大震災ではアートセラピーのボランティア活動を支援。NHK「課外授業ようこそ先輩」などテレビ出演や講演活動も多い。著書に『「色彩セラピー」入門』『心の病気になるしない色彩セラピー』(PHP)最新刊『みるみる変わる!困った子、心配な子の育て方』(講談社)など多数。



「色彩学校」プロデューサー
江崎 泰子 EZAKI, Yasuko
「色彩学校」主任講師
(株)ハート&カラー共同代表

編集者として、『子供!』(晶文社刊ヤメシユ・コルチャック賞受賞)などを制作した後、1988年に末永蒼生と(株)ハート&カラーを設立。翌年、「色彩学校」を企画、開講した。末永と共同開発した「末永ハート&カラー・メソッド」の社会的発信と活用を担い、衣食住のカラーデザインをはじめ出版物やデジタルソフトの企画などを手がけてきた。また、ハート&カラーの出版物の企画、編集、執筆なども行っている。「色彩学校」ではスキルアップ講座などの授業の他、専門とする「日本の伝統色」の普及に力を入れている。

すべてのコースをオンラインで開講！どこからでも受講可能です。

※2023 春の「①総合アート療法士養成コース」は、東京本校【オンライン】クラスと名古屋【対面】クラスを開講します。具体的なスケジュールや受講料は募集要項をご覧ください。
 ※各コースにおいて一定の出席率を満たし、ホームワークを提出された方には「色彩学校」の修了証が発行されます。
 ※資格は「(社)国際アートセラピー色彩心理協会」から発行されます。資格を取得および保持するには、協会に所属することが前提となります。

本格的に学びたい方は、**初級** からスタート！

入門的な内容を気軽に学びたい方は **Basic** から

自分を知り実践力を身につける

初級 アート療法士養成科 5p

～色彩心理とアートセラピーの基本的な理論と実践方法習得～

- ① 【前期】自分を知り可能性に出会うアート療法体験
 【後期】子どもから成人まで活かせる実践スキル習得

総合アート療法士養成コース

「子どもアート療法士」認定資格取得 (受講日数) 前期6日 後期5日

創作活動を通して子どもたちの心を育て、能力を育てる。

「アート療法士」認定資格取得

大人対象にぬり絵などを使い、自己発見やメンタルケアを行う。

- ② 創作を通して、高齢者の心の元気をサポートする

「シニアアート療法士」養成コース (受講日数) 5日

「シニアアート療法士」認定資格取得

高齢者を対象に創作を通して心の元気をサポートする。

Basic 色彩心理の基礎を学ぶ

色彩心理・Basic クラス (受講日数) 18コマ

「色彩心理インストラクター」認定資格取得可

自分や身近な人にぬり絵を使ったメンタルケアができる。

※詳細は別パンフレットがございますのでご請求ください。
 ※他にもインターネット通信講座などがあります。

③ ヘステップUP!

④ ヘステップUP!

④ ヘステップUP!

4 色彩心理総合科 ～アートセラピーの土台となる心理学の理論と体験～ 7p
 認定取得必修 ライフサイクルアートセラピーコース (受講日数) 4日

③ ヘステップUP!

コミュニケーション力を高める

中級 色彩心理カウンセリング科 6p

- ③ カウンセリングとコミュニケーションの力を身につけ、2つの資格が取得可能
色彩心理カウンセリング&コミュニケーションコース

【前半】は A または B、あるいは両方を選択

- 3A 子育てカウンセリング技術習得 (受講日数) 3日
 チャイルドアートカウンセリングプログラム

- 3B 心の問題に対応するカウンセリング技術習得
 個人カウンセリングプログラム (受講日数) 3日

【後半】は AB 合同のプログラム

- 3合同 セラピスト、カウンセラーに役立つ コミュニケーションプログラム (受講日数) 3日

③ + ④ → 「中級認定 チャイルドアートカウンセラー」資格取得可 (A+合同)

養育者に対し、絵を介したカウンセリングを通して子育てをサポートを行う。

③ + ④ → 「中級認定 色彩心理カウンセラー」資格取得可 (B+合同)

言葉によるカウンセリングだけでなく、色彩表現を取り入れたセッションを行う。

⑤ ヘステップUP!

⑥ ヘステップUP!

自己実現と社会発信

上級 プロフェッショナル養成科 8p

- ⑤ 子どものアトリエが開ける
チャイルド色彩心理プロフェッショナルコース (受講日数) 2日

「上級認定 チャイルドアートカウンセラー」資格取得

未永メソッドの使用ライセンスを取得。アトリエを開くなど子育てサポートのプロとして活動を行う。

- ⑥ 独立開業を目指す
色彩心理プロフェッショナルコース (受講日数) 2日

「上級認定 色彩心理講師」資格取得

未永メソッドの使用ライセンスを取得し、フリーの講師として独立開業する。

③ (A+B+合同) + ⑤ or ⑥ → 「色彩アートセラピスト」認定資格取得 子どもから成人、高齢者まで幅広い層を対象に、総合的に色彩を介したメンタルケアを行う専門家。

各コース修了後の活動バックアップは……

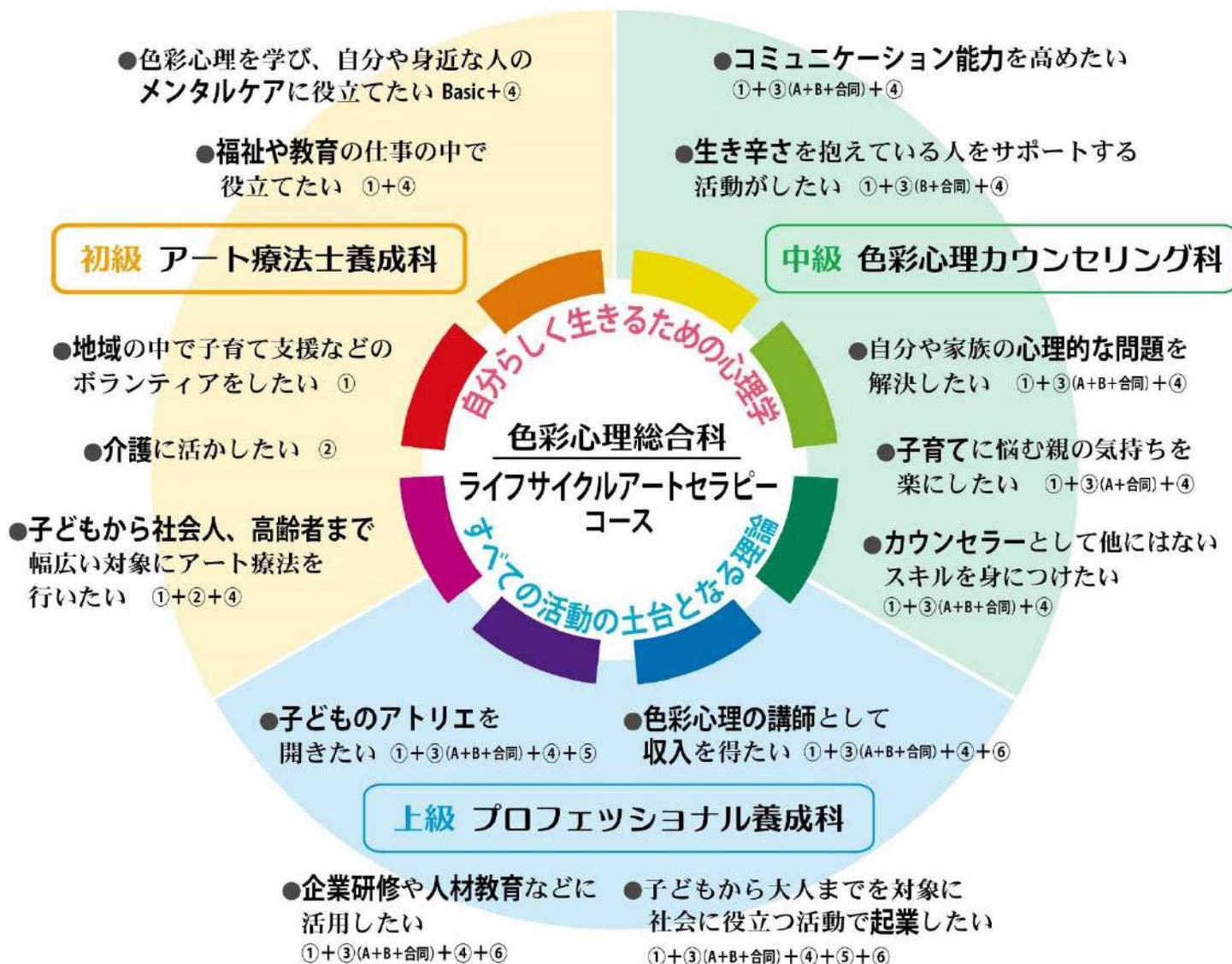
「一般社団法人 国際アートセラピー色彩心理協会」



9p

「色彩学校」での学びであなたの可能性を広げてください!

※コースは、ご自身が学びたい内容によって選択し、受講することができます。
ただし、初級→中級→上級という流れの順番は変更できません。



「末永ハート&カラー・メソッド」とソフト類について

「末永ハート&カラー・メソッド」は、末永蒼生が長年に渡って研究、開発を行ってきた内容を、色彩心理チャートやカラー・ヒストリー、めり絵ワークシートなど色彩から心の状態を把握するための多数のオリジナルソフトとして実用化したものです。個人のメンタルケアや福祉、教育、医療の分野で有効活用されています。

「色彩学校」はこのメソッドを教育システムとしてまとめ、独自のカリキュラムを実施する唯一の講座です。

★パンフレット文中の「ハート&カラー・メソッド」及び「末永メソッド」は、「末永ハート&カラー・メソッド」を略した表記です。

★「色彩学校」のテキストをはじめ授業で使用する全てのソフト類は、日本はもとより米国、中国でも著作権を取得し、公的に登録されています。

★「ハート&カラー」「色彩学校」「カラー・ヒストリー」「ハート&カラー・ヒストリー」「色彩アートセラピスト」「アート療法士」「色彩心理士」は、当社の登録商標です。また、「カラー・ヒストリー」「ハート&カラー・チャート」は文化庁への著作権登録ソフトとして、当社が知的所有権を有しています。



「色彩学校」の教材
『辞典・色彩自由自在』(晶文社出版)
末永蒼生著／写真・内藤忠行

初級 アート療法士養成科

自分のための体験と学びから始まり、子どもから成人までを対象にした「総合アート療法士養成コース」、高齢者を対象にした「シニアアート療法士養成コース」と、目的に応じたプログラムを用意。実践例に触れながら、アート療法の方法を修得していきます。

1 子どもから成人まで活かせる2つの資格が取得できる 総合アート療法士養成コース

概要

色彩表現を通して自分自身を知り、メンタルケアの方法を身につける【前半】のコースと、子どもから成人まで幅広い対象に活かせるアート療法を学び、2つの療法士資格を取得できる【後半】のコースがあります。50年に渡る豊富な経験と事例から生まれたオリジナルぬり絵や心理チャート、「アート療法画材セット」など活動に必要な画材やソフトが揃っているので、安心して始めることができます。

活かし方

子どもを対象に活動したい方にとっては、大人対象のスキルを身につけることで養育者対応に役立ちます。大人対象の活動をしたい方にとっては、子ども時代の心を知ることでセラピーの効果を上げることに繋がります。

子育て支援や援助を必要としている地域社会でのボランティア活動、社会人のためのストレスケアなど、活かせる場所はさまざま。あるいは、保育園、学童、福祉施設などに導入することも可能。(株)ハート&カラーでは、ご家庭や地域サークルに派遣する出張サービスも行っていますので、アート療法士として派遣登録ができます。



「子どもアート療法士」 「アート療法士」認定資格取得

主なカリキュラム

【前半】

- ・アート療法とセカンドステップセラピーのプロセス
- ・画材の使い方とセラピー効果
- ・ぬり絵と自由画の読み解き
- ・ハート&カラー・ヒストリーセッション

【後半】

- ・対象、目的別のぬり絵の使い方
- ・対象、目的別のアート療法の組み立て方
- ・子ども時代の表現にみる成長と発達
- ・創作のための物理的、心理的環境作り
- ・アート療法チャートを使ったコミュニケーションレッスン
- ・アート療法士としてのセルフケア
- ・活動に向けてのプレゼンテーション



■本コースで取得できる認定資格について 「子どもアート療法士」「アート療法士」

「子どもアート療法士」は、絵を通して子どもの精神状態や成長の様子をキャッチ、必要に応じて心のケアを行っています。

「アート療法士」は、大人のためのオリジナルぬり絵などを使い、言葉にならない思いや感情を表現してもらうことでメンタルケアを行っています。

認定資格取得: 本コース受講中に、レポート提出と簡単な筆記試験があります。その結果により、コース内容を正しく理解し、基本的な知識を身につけたと判断された方に対し、「子どもアート療法士」「アート療法士」2つの認定資格を授与し、IDカードを発行いたします(各資格は1年ごとの更新制で、更新時には更新料が派生します)。

■修了後のステップアップについて

本コースを修了された方は、初級②「シニアアート療法士養成コース」、中級③「色彩心理カウンセリングコース」、認定取得必修コース④「ライフサイクルアートセラピーコース」を受講することができます。

2 創作を通して、高齢者の心の元気をサポートする 「シニアアート療法士」養成コース

概要

高齢化が進む日本において、年をとっても最後まで生き生きと過ごすことは多くの人の願い。そんな高齢者を対象に創作を通して心の元気をサポートするのが、「シニアアート療法士」です。色を楽しみながら脳や運動機能のトレーニングにもなるアート療法の方法は、介護の現場などですぐに活かせるだけでなく、これから年を重ねる熟年世代が若々しく心豊かな人生を送るためにも、身に付けておきたい方法です。

*本コースの詳細は別パンフレットがございますので、ご請求ください。

活かし方

長年に渡るシニアアート療法の現場から考案されたオリジナルぬり絵は、高齢者の記憶を呼び覚ますような絵柄が特徴。会話が生まれ、コミュニケーションの回路を増やすことができます。さらに、継続した

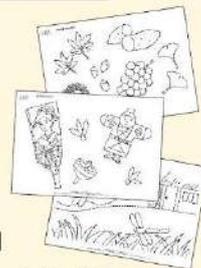


アート療法では、心身の変化や認知症の進行度などが察知しやすくなり、日常のケアや対応に役立てることができます。身近な人の介護に活かす、高齢者施設のレクリエーションに導入するなど、活用の機会は今後さらに広がるでしょう。

「シニアアート療法士」認定資格取得

主なカリキュラム

- ・シニアの心と身体
- ・シニア向けぬり絵の使い方と読み解き
- ・画材のセラピー効果
- ・認知症における表現の特徴
- ・対象別アート療法の工夫と対応
- ・プロセスで見るアート療法の効果と事例
- ・介護スタッフとのコミュニケーション



■本コースで取得できる認定資格について 「シニアアート療法士」

「シニアアート療法士」は、ぬり絵などのアート表現を通して、高齢者の心の元気をサポートする専門家です。

認定資格取得: 本コース受講中に、レポート提出と簡単な筆記試験があります。その結果により、コース内容を正しく理解し、基本的な知識を身につけたと判断された方に対し、「シニアアート療法士」の認定資格を授与し、IDカードを発行いたします(資格は1年ごとの更新制で、更新時には更新料が派生します)。

■修了後のステップアップについて

本コースを修了された方は、初級①「総合アート療法士養成コース」や認定取得必修コース④「ライフサイクルアートセラピーコース」を受講することができます。

中級

色彩心理カウンセリング科

心を絵や色で表現してもらって色彩心理カウンセリング。言葉にならない思いをすくい上げていくために大切なのは、カウンセラーのコミュニケーション力です。中級は、セラピーやカウンセリングにおける問いかけと対話のスキルを育むためのカリキュラム。【前半】は、子育ての悩みに対応する3A「チャイルドアートカウンセリング」と、大人の心理的問題を扱う3B「個人カウンセリング」の一方または両方を選び、【後半】は3合同「コミュニケーションプログラム」で実践的なコミュニケーションスキルを身に着ける流れになっています。

3

カウンセリングとコミュニケーションの力を身につけ、2つの資格が取得可能

色彩心理カウンセリング&コミュニケーションコース

【前半】はAまたはB、あるいは両方を選択

3A

子育てカウンセリングの方法を身につける チャイルドアートカウンセリング プログラム

「中級認定 チャイルドアートカウンセラー」資格取得可

概要 育児に不安や悩みを抱えたり、子どもの成長を願う養育者に対して、子どもの絵を介したカウンセリングを行い、子育てのサポートに役立てるものです。

主なカリキュラム

- ・子どもの絵を介したカウンセリング事例から、子育て現場で起きている問題を考える
- ・多様な個性や特徴を持つ子どものための、親が楽になる柔軟な子育てとは?
- ・養育者に向けたセラピーとカウンセリングのためのソフトの使い方

活かし方

絵に表れた子どもの心を知ることで、養育者自身が悩みや不安を和らげ、より良い親子関係を見出していくためのカウンセリングが出来るようになります。また各々人への育児支援のみならず、教育、福祉などの現場で活用できる具体的内容となっています。

3B

色彩心理を用いたカウンセリング技術を習得する 個人カウンセリング プログラム

「中級認定 色彩心理カウンセラー」資格取得可

概要 表現を介してクライアントの心の深層にアプローチしていく個人カウンセリングのスキルを習得していきます。

主なカリキュラム

- ・オリジナルソフトを用いた個人カウンセリングの方法
- ・クライアントの気づきにつながる表現の読み解き
- ・カウンセラーとしての対応
ロールプレイング

活かし方

生き辛さや心理的問題を抱えた個人を対象に、表現と対話を通して新たな視点を見出すサポートを行います。心理職の方のプラスアルファのスキルとして、また企業内や教育現場におけるメンタルケアなどでも活かせる実践的内容です。



【後半】はAB合同のプログラム

3合同

セラピスト、カウンセラーに役立つ コミュニケーションプログラム

主なカリキュラム

- ・自分のコミュニケーションの傾向を知る
- ・1枚の表現から、多角的な質問を考えるレッスン
- ・クライアントの心を開く言葉かけ
- ・子育ての悩みや生き辛さの背景にある社会的問題を考える

概要 カウンセリングだけでなくワークショップの場でも、大切なのは傾聴と質問、そしてクライアントの気づきを促す言葉かけ。体験を通して自分らしいコミュニケーションの方法を獲得していきます。

活かし方

自由なビジュアル表現と、感情や感覚を意識化するための言葉。この2つの循環を良くすることによって、感じ、考え、伝える力が高まります。それは、カウンセリングの現場で活かせるのみならず、日常生活における人との相互理解や対話を深めることにもつながります。

■ 3A + 3合同 で取得できる資格

「中級認定 チャイルドアートカウンセラー」

「中級認定 チャイルドアートカウンセラー」は、自由な創作活動を通して子どもの心を育み、絵を介したカウンセリングによって子育てサポートを行う専門家のことです。

資格取得: 本プログラム及び認定取得必修コース「ライフサイクルアートセラピーコース」を修了された方で、希望者は資格試験を受けることができ、合格された方は「中級認定 チャイルドアートカウンセラー」の名称で活動することが可能です(資格は1年ごとの更新制で、資格試験考査及びIDカード発行料と、更新時には更新料が派生します)。

■ 上級へのステップアップについて

本プログラムに加えて、認定取得必修コース④「ライフサイクルアートセラピーコース」を修了された方は、上級⑤「チャイルド色彩心理プロフェッショナルコース」を受講することができます。

■ 3B + 3合同 で取得できる資格

「中級認定 色彩心理カウンセラー」

「中級認定 色彩心理カウンセラー」は、言葉によるカウンセリングだけではなく、色彩表現を取り入れたセッションが行える専門家のことをいいます。

資格取得: 本コース及び認定取得必修コース「ライフサイクルアートセラピーコース」を修了された方で、希望者は資格試験を受けることができ、合格された方は「中級認定 色彩心理カウンセラー」の名称で活動することが可能です(資格は1年ごとの更新制で、資格試験考査及びIDカード発行料と、更新時には更新料が派生します)。

■ 上級へのステップアップについて

本プログラムに加えて、認定取得必修コース④「ライフサイクルアートセラピーコース」を修了された方は、上級⑥「色彩心理プロフェッショナルコース」を受講することができます。

認定取得必修

色彩心理総合科

誰の中にも子ども心や大人の成熟といった年齢を超えた多様な心があります。その循環する心を「ライフサイクル」として理解することは、アート療法やカウンセリングの土台となるとともに、自分らしく生きるための心理学につながります。



【理論と体験】色彩や絵を通して心を探求し、全世代に役立つ心理学を修得。
一人ひとりの表現や発言を大切に、共感や多様性を育む場を共に作ります。

ライフサイクルアートセラピーコース



概要 ●「無意識を探求し、生涯を通して活かせるアートセラピー」

末永メソッドは色彩心理の研究からスタートし、子どもから成人、高齢者に至るまで全世代を通して活かせるアートセラピーの方法へと進化してきました。その理由は色彩を通して人の「無意識」レベルに働きかける方法だからです。なぜ、この「無意識」レベルに届くセラピーが必要なのでしょう。それは、ひとりの人の中にはさまざまな心が息づいているからです。子どもの頃の感情と同時に、成熟した心が、また男性性と女性性、ときにはジェンダーレスな自分もいたりします。心理的にも、自由を希求する気持ちと抑制する気持ち、自信と裏腹の劣等感、さらに意識と無意識など、多彩な心がひしめき合っているのが私たち人間です。「ライフサイクルアートセラピー」のもう一つの特色は、これまでの人生で味わってきた感情や心理を糧にして「いまを生きる力」に高める方法だということです。その一つが自分の「ライフサイクルチャート」を作る自己セラピーの体験。こうした実感を伴いながら心理学のエッセンスを吸収することは、第三者にアート療法を提供していく上でも確信につながるでしょう。

●個人と社会を探るエンカウンターグループセッション

「エンカウンターグループ」とは、心理療法家・ロジャースが提唱したグループセッションの方法で、参加者それぞれの自由な発言を通して、関係性の中から気づきを得ていく試みです。このコースではこうした語り合いを大切に、参加者と共に場を作っていきます。そこでの大切なテーマは、「個人的自己」と「社会的自己」。私たちは、表現を通して自分の内面と対話すると同時に、自分を取り巻く社会的環境に目を向けることも大切です。なぜなら、個々人の生き辛さは多様性を認めない効率優先の不寛容な社会から生み出されていることでもあるのですから。そうした中で、一人ひとりが心のエネルギーを回復し自分らしい人生を創造するのに役立つのが、自由な色彩表現でありアートセラピーなのです。

主なカリキュラム

【講師】末永蒼生 + 「色彩学校」専任講師

自己表現を楽しみながら自然に身につくカリキュラムです。

- ・ 深層心理学からロジャースのカウンセリングまで、色彩心理とアートセラピーの関係についての基礎知識
- ・ 色彩表現を通して自分のライフサイクルバランスを整える方法
- ・ 内在化する心の断片を色や言葉で表し、丸ごとの自分を見出すレッスン

※カリキュラム内容は、受講生のニーズや進行に合わせて変更することがあります。

活かし方

意識と無意識の循環力を高めると同時に、個人を活かす社会への視点を養っていきます。それはセラピストとしても、読み解き力が深まり、「心の対話力」を育むことへとつながります。



「色彩学校」講師陣



宇佐田典子

長年に渡る「子どものアトリエ」での経験をもとに「中級チャイルドアートカウンセリングプログラム」などを担当。自宅でもアトリエを主宰している。



大村朋子

表現を通したセルフセラピーに関心が高く、成人のためのアート療法クラスなどを担当。高齢者施設でのアート療法やグループワークなども行っている。



佐久本恵

「上級チャイルド色彩心理プロフェッショナルコース」などの講座や研修を担当。「心と体の健康」をテーマにアトリエ活動を行っている。



牧村幸恵

誰もが自分の気持ちをありのままに感じて生きるためのアート療法を実践。メンタルホスピタルや企業での色彩心理の導入にも力を入れている。



馬目佳世子

「国際アートセラピー色彩心理協会」事務局として、修了生サポートを担当。子どもから大人まで誰もが自由に表現できるアトリエも主宰している。

ゲスト講師による公開講座

谷川俊太郎／詩人
五味太郎／絵本作家
小森陽一／文芸評論家
中沢新一／宗教学者
深井晃子／服飾評論家
内藤忠行／写真家
若桑みどり／美術史家
高畑早苗／アーティスト
斎藤祝子／画家・アートセラピスト

柏木恵子／発達心理学者
龍村仁／映像作家
矢吹紫帆／ミュージシャン
野本律子／カウンセラー
大平健／精神科医
上野千鶴子／社会学者
田中美津／鍼灸師
松本路子／写真家
川瀬敏郎／花人

吉岡しげ美／作曲家
黒田征太郎／画家
平常／人形劇俳優
ジェリィ・フォリー／カラーデザイナー
近藤富枝／作家・平安文化研究者
杉浦康平／グラフィックデザイナー
小池一子／クリエイティブデザイナー
鶴田静／ベジタリアン料理研究者
ウォンウィンツァン／ピアニスト
ウォン美枝子／クリエイター
伊波真理雄／精神科医

片岡秀太郎／歌舞伎役者
横尾忠則／画家
養老孟司／解剖学者
パドミニ・バララム／インド染色研究者
吉岡幸雄／染色家
ワダ・エミ／コスチュームデザイナー
毛利臣男／クリエイティブディレクター
保田道世／スタジオジブリ・色彩設計家
アレックス・カー／東洋文化研究者
徳永雄一郎／医師・ストレスケアセンター院長
ペドロ・エルバー／コーネル大学准教授

上級 プロフェッショナル養成科

「子どものアトリエを開きたい」「色彩心理の講師になりたい」「ライフワークとして収入を得たい」……。自分のために学び、身につけてきたことは、社会に還元してこそ活かされるもの。このプログラムでは、プロとして仕事をする上で必要なノウハウを学び、第一歩を踏み出す後押しをします。

5

子どものアトリエが開ける
2年間のサポートプログラムあり！

チャイルド色彩心理 プロフェッショナルコース

プロライセンス

「上級認定 チャイルドアートカウンセラー」資格取得

概要

50年に渡る「アートランド」のアトリエ実績により体系化された方法を公開。色と心の相関関係がわかる「表現カルテ」や「成長カルテ」、子どもの能力を引き出す創作画材など、子どものアトリエのために開発されたメソッドを習得します。上級受講者だけが使えるこうしたソフト類を用いて、自分のスタイルで活動を始めることができます。

主なカリキュラム

- ・アトリエの心理的、物理的環境作り
- ・子どものための未永メソッド習得
- ・個性と創造性を育む創作と子ども対応
- ・養育者向けのグループセッションの方法
- ・アトリエ活動開始に向けてのシミュレーション



活かし方

未永メソッドの主旨と方法(ソフト)に基づき子どものアトリエを開くことができます。活動形態は、未永メソッドを取り入れつつ各人のペースで行う「認定アトリエ」、個別の活動状況に応じた「個別活用」など、主宰者のライフスタイルや地域の特性などによって自由に決めることができ、定期的な収入の確保にもつながります。その他、教育や福祉施設などの現場にアトリエを取り入れる、イベント的にアトリエを開催するなど、活かし方はいろいろ。子どもの居場所作り、子育て支援といった地域社会への貢献度が高いこの活動は、大きなやりがいになるはずですよ。

■認定資格とライセンス契約について プロライセンス「上級認定チャイルドアートカウンセラー」

本コースを受講するためには、事前にライセンス契約を結んでいただくことが必須です。「子どものアトリエ・アートランド」では、未永蒼生が長年をかけて開発してきたさまざまなメソッドを用いて、親と子の心理的サポートに成果を上げてきました。受講前にライセンス契約を結んでいただくことにより、これらの方法を取り入れ、プロフェッショナルとして活動していくことが可能となります。

資格取得：本コース修了後は、「上級認定チャイルドアートカウンセラー」の名称で活動することが可能です(資格は1年ごとの更新制で、更新時には更新料が派生します)。

6

独立開業を目指す
2年間のサポートプログラムあり！

色彩心理 プロフェッショナルコース

プロライセンス

「上級認定 色彩心理講師」資格取得

概要

「色彩学校」で自分が体験し学んだことを、色彩心理の専門講師として伝え、仕事をしたい方のための養成コースです。集中講座修了後は、2年間の活動支援プログラムがスタート。現場研修の他、各人の自己実現に向けて担当講師が個別にアドバイスをを行い、応援していきます。

主なカリキュラム

- ・レクチャーや講座の組み立てと進め方
- ・講師としての自己トレーニング
- ・仕事の場を作るためのプレゼンテーション
- ・活動に向けてのプランニング作り



活かし方

フリーの講師として、カルチャーセンターや成人大学、企業研修などで色彩心理のレクチャーを行う、自分で教室を主宰する……など、独立開業を目指すものです。

さらに、2018年から修了生への新たなサポートが加わり、希望者は、「色彩学校」と契約を結ぶことで、各地域で提携クラスが開けるようになりました。カリキュラムや教材はすべて「色彩学校」が提供。主宰者は、講師として授業に専念することができます。一人で生徒集めを行ったり教室を運営するのは大変という方には心強いシステムです。自分のペースで続けられるライフワークを目指してください。

■認定資格とライセンス契約について プロライセンス「上級認定色彩心理講師」

本コースを受講するためには、事前にライセンス契約を結んでいただくことが必須です。ライセンス契約を結ぶことにより、未永蒼生及び(株)ハート&カラーが商標や知的所有権を有している「色彩学校」のオリジナル教材やワークシートを使用し、プロフェッショナルとして仕事をすることができます。

さらに、新たな契約と研修を経ることで「提携クラス」を開いた場合には、さまざまなサポートを受けることができます。

資格取得：本コース修了後は、「上級認定色彩心理講師」の名称で活動することが可能です(資格は1年ごとの更新制で、更新時には更新料が派生します)。

■認定資格「色彩アートセラピスト」について

「色彩アートセラピスト」は、子どもから成人、高齢者まで幅広い層を対象に、総合的に色彩を介したメンタルケアを行う専門家。

資格取得：上記のプロライセンス「上級認定チャイルドアートカウンセラー」または「上級認定色彩心理講師」のいずれかの資格を保持し、かつ中級③「総合色彩心理カウンセリング&コミュニケーションコース」の全課程(A+B+合同)を修了された方は、「色彩アートセラピスト」として活動していくことが可能となります。

「国際アートセラピー色彩心理協会」

「色彩学校」修了後には「一般社団法人 国際アートセラピー色彩心理協会」の会員に。同協会は、色彩心理を社会に役立てることを目的とした全国ネットワーク組織です。「色彩学校」修了後も継続した情報交換を行い、個々人が活動していくためのバックボーンとなります。

交流

色彩フォーラム

毎年、開かれる「色彩フォーラム」は、各地から集まった修了生たちが活動の様子を報告したり、ゲストを招いての講演会など、地域やクラスを越えた交流とスキルアップの場になっています。



色彩フォーラム2011

テーマごとの研修会

認定資格取得者の研修会や、さまざまな内容のスキルアップ講座など、修了後も実践活動に役立つテーマ別の勉強会を行っています。また、地域ごとの交流会や情報交換の機会も随時、開催しています。

活動支援

バックアップ

活動する際に必要なさまざまな支援を行っています。たとえば、仲間やスタッフを求めている人に他の協会員を紹介するなどのネットワーク作り。画材の貸し出し。内容に関する相談やアドバイス対応。広報のための資料の貸し出し……など。充実したバックアップ体制が整っています。



貸し出し用の水性クレヨンや色えんぴつ

活動支援金の給付

社会貢献を目的としたボランティア活動に携わっている会員に対して、バックアップのための支援金を給付しています。

協会認定「色彩心理士」取得を最終目標に!

「国際アートセラピー色彩心理協会」の正会員で、継続した活動によって地域社会に広く貢献していると評価された場合、協会認定の「色彩心理士」の称号が授与されます。



「色彩心理士」認定証

社会貢献

職業や目的、地域別のグループ

会員の中でも同じ職業や目的をもった人、活動地域が近い人同士が集まってグループを作り、活動を始めています。2007年には、看護師さんや医療従事者が集まり、「アートセラピー看護net」が誕生しました。



看護師さんを中心としたグループ 看護net

ボランティア活動

阪神淡路大震災の際のボランティアの経験を活かして、東日本大震災の直後から協会員を中心に「東日本支援クレヨンネット」を立ち上げ、被災地でアートを通じた心のケアを行ってきました。また、「世界子どもクレヨン基金」を設け、戦争や災害、事故などでダメージを受けた世界の子どものために画材を送る活動を行っています。その他、長年に渡り、高齢者施設でのアートセラピーボランティアなども行っています。



高齢者施設でのボランティア



東日本支援クレヨンネットの活動

Network

ネットワークマガジンの発行

協会員のための情報誌として『Color Link』を冊子やWebマガジンとして発行。アートセラピーに関する特集を組んだり、会員の活動を紹介しています。



ネットワーク誌『Color Link』

海外にも広がる拠点

韓国・ソウルにも日本と同じカリキュラムで授業を行う「色彩学校」(代表/白樂善ベク・ナツン先生)があり、修了生たちは、「韓国・アートセラピー色彩心理協会」に所属。子どものアトリエ活動やカウンセリングなど、韓国社会の中でも未メソッドが活かされています。

「韓国・色彩学校」代表・白樂善(左)と末永蒼生



修了生紹介

「色彩学校」修了生は、
日本全国いろいろな場で
活躍しています。

子どものアトリエの他、 NPO法人も立ち上げ活動中!



丹原史晶さん

(岡山県/子どものアトリエ七星主宰、
NPO法人KODOMO10理事長)
チャイルド色彩心理プロフェッショナルコース修了

自分の子どもの誕生をきっかけに、子育てに関心をもち「色彩学校」を受講。サラリーマンを辞め、2004年にアトリエを開設しました。2009年には子どもたちと地域社会のつながりを作ることを目的にNPO法人を設立。子どもの健やかな成長は大人の幸せにもつながると信じ、子育て支援に力を注いでいます。

カルチャー講師や カウンセリングを中心に 色彩心理を仕事にしています



佐藤千恵さん

(徳島県/色彩心理講師・カウンセラー)
色彩心理プロフェッショナルコース修了

現在、講師としてカルチャーセンターでカラーセラピーの講座を担当している他、個人カウンセリングを行っています。私自身が1枚のぬり絵を表現することで、どうにもならなかった負の感情を表に取り出すことができ心が楽になった経験から、色彩の力を実感したのがきっかけです。

2014年からは、大学で色彩アートセラピーのコースがスタートし、カリキュラムの作成など全部を任せられ教えています。

保育園の中に 子どもが自由に創作できる アトリエを作りました



齋藤真弓さん

(東京都/うらら保育園園長)
チャイルド色彩心理
プロフェッショナルコース修了

私共の保育園では、子どもたちには自分を表現する様々な方法を人間形成の土壌作りの時期に体験してほしいと考えてきました。そうした園の理念と未永メソッドの考え方に私自身共感性を実感したので、園に提案してアトリエ空間を作りました。今、子どもたちに「好きな場所は?」と尋ねると、半数以上が「アトリエ」と答えます。子どもたちにとって、本来の自分に立ち戻る場所になっているのではないのでしょうか。

看護師として、患者さんや 家族にぬり絵セラピーを



田丸千春さん

(静岡県/看護師)
色彩心理プロフェッショナルコース修了

「色彩学校」で学ぶ内、言葉にならない思いをくむのに、色は有効だと実感。講座修了後、看護の現場で、産婦人科、小児科病棟の患者さんや家族に対して、ぬり絵による色彩セラピーを行っています。ぬり絵は病室でも手軽に表現できるので便利。より一層患者とその家族の側の気持ちに立つことができるようになりました。

「色彩学校 提携クラス」を 地元ではじめました!



もりたはるこさん

(愛知県/「色彩学校 提携クラス」
認定色彩心理講師)
色彩心理
プロフェッショナルコース修了

言葉にならない思いを色で出せる場が身近になれば……、そんな思いで提携クラスを始めました。「色彩学校」のカリキュラムに加え、私が培ってきた経験から楽しく伝える工夫もできるので、オリジナル講義を考えるのは大変ですが、ワクワクします。不安なことは事務局に相談できるのも心強く、安心して自信をもってお伝えできています。受講生の楽しそうに輝く笑顔を見て、自分自身が色彩心理を学び始めた時の感動がよみがえりました。自分自身もこの講座によって成長しているのを感じています。

自宅で高齢者のための 「ぬりえサロン」を開いています



森田 登志さん

(東京都/
ぬりえサロン小茂根 代表)
シニアアート療法士養成
コース修了

高齢者に地域で元気でいてもらおうと、近所の方に声をかけ、自宅のリビングで「ぬり絵サロン」を開催しています。「ぬり絵が楽しみ」「ひとりじゃないって思える」「知り合いが出来て嬉しい」といった感想とともに、皆さんの和やかな様子を見ていますと、私も少しはお役に立てているようで嬉しいですし、自分もいずれ通る道として勉強させてもらっています。

学生の夢の実現や、 社会人のカウンセリングに 色彩心理を活かしています



足立司郎さん

(岐阜県/産業カウンセラー)
個人カウンセリングプログラム修了

現在、専門学校で学生相談の担当として、色彩心理を活用。言葉では言い表せない思いを色彩を通して確認し、自己実現に向けて奮闘する学生たちに元気をもらっています。その他にも、社会人にぬり絵を使ったカウンセリングを行っています。ぬり絵表現で胸につかえていたものに気づき、乗り越えていく姿に、色彩セラピーの持つ力や神秘さを感じています。

母親を対象にした カラーワークショップで 子育て支援



杉原佳子さん

(東京都/色彩心理カウンセラー)
個人カウンセリングプログラム修了

地域の子どもたちが気軽に立ち寄って創作が楽しめる場所として、自宅を開放して定期的にアトリエを開催しています。学校や友だちのことなど、子どももいろいろなことを抱えているので、気になった表現などがあればそれとなく親ごさんに伝えるようにしています。また、地域講座の中で子育て中のお母様のメンタルケアとして、色彩セラピーを体験していただきました。

子どものアトリエ・アートランド

“アートによる心育で”をテーマにした、子どものための自由創作の場。東京・青山本部の他、「色彩学校」の修了生たちが全国各地で認定アトリエを展開中。

ワークショップ&講演会

美術館、自治体、医療や高齢者施設、教育関連などにおけるワークショップや講演会の実施。

色彩プロデュース

色彩をテーマにした単行本の企画、執筆。デジタルコンテンツ、展覧会、イベント企画など。

カラーデザイン

色彩心理を応用した衣食住に関するカラーデザイン。福祉施設などの癒しの色彩環境作りに力を入れている。

ハート&カラー・カウンセリング

言葉になりにくい感情を色や絵で表現。それをもとに対話を行い、問題解決を図る個人カウンセリング。

人材教育

表現を楽しみながら、メンタルヘルスやコミュニケーション能力を高めるプログラムを開発。企業研修などに成果を上げている。

社会貢献・ボランティア活動

高齢者施設や心のケアを必要としている子どもたちに対し、アートセラピーによる支援活動を続けている。

(社)国際アートセラピー色彩心理協会

色彩の心理効果を社会に役立てることを目的にした全国ネットワーク組織。メンタルケアに関する研究や情報交換などを行っている。



未永メソッド色彩心理研究所

アート、伝統文化、教育、セラピーなど幅広いテーマを色彩心理の視点から調査研究。

「色彩学校」ネットワーク

● 東京本校「色彩学校・TOKYO」

● 名古屋校 ● 大阪校 ● 福岡校

※現在は、東京本校から発信するオンラインクラスを中心に開講しています。

● 韓国校「色彩学校・SEOUL」

■ 問い合わせ先

「色彩学校」事務局

運営：株式会社ハート&カラー
一般社団法人「国際アートセラピー色彩心理協会」

〒107-0062 東京都港区南青山 3-3-23 Sta-Bld 2F
TEL: 03-5474-7810 FAX: 03-5474-2860
E-mail: admin@shikisaigakko.net

URL ▶ shikisaigakko.net
▶ arttherapy-color.jp